



岡本 やすひろ

教育子ども委員長
公社対策 特別委員会
名古屋民主市議団 政審会長

事務所のご案内

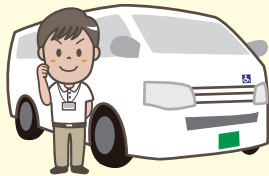
〒458-0039 名古屋市緑区四本木 1231
Email. info@okapon.nagoya
T E L. 052-629-3933
F A X. 052-629-3922

市政Topic

新型コロナウイルス感染症対策に 全力で取り組んでいます。

コロナ患者の搬送体制を增強

新型コロナウイルスの感染が急激に拡大する中、患者の搬送業務の一部を民間の救急事業者に委託することになりました。これまで専用車両だけでは追いつかない際の不足分は救急車などで対応していましたが、隊員の感染予防対策や救急車両の消毒など負担の解消にもつながります。



中小企業への新たな経済支援を検討

地域の経済や雇用を支える中小企業に対し、これまで支援を受けられなかった方も含め、新たな応援施策を検討することになりました。新たな支援策は一層の周知を図り、さらに利用しやすい制度となるよう配慮することを求めています。



コロナ患者専用の病床新設へ

東部医療センターの旧東病棟に、新型コロナウイルスの感染者専用の病床を約20床、3月末までに整備することになりました。病床新設に伴い名古屋市立大学が医師や看護師らの派遣を行います。地元地域や東部医療センターの患者さんなど利用者の皆さんに十分な配慮をするよう求めました。

保健センターの体制強化

陽性患者の行動歴調査や自宅療養者・濃厚接触者の健康観察を担う保健センターの体制がひっ迫していることから、看護職・事務職の派遣職員を導入(中保健センターは9名の増員、緑保健センターはじめ、その他の保健センターは各区3名増員)と、各部署からの応援体制を強化しています。

新たな政策、提案を推進

コロナ対策とともに、私たちの生活に関わる議論に積極的に取り組んでいます。

子ども医療費は18歳まで無料(医療費・通院費)

『現在中学生まで無料の子ども医療助成制度を、18才まで無料とするよう助成拡大します。』

入院費はすでに18歳まで無料ですが、**通院費**も令和4年1月より**18歳まで無料**となるよう取り組んでいます。

トワイライトスクール・ルーム、学童保育の充実

『小学生が放課後に安心・安全に過ごせる場所を確保することで子育て世帯を応援します。』

トワイライトスクールは、1時間長く19時まで利用できる「**トワイライトルーム**」への移行を、約80箇所増(令和10年度までに)の計画で進めています。**学童の家賃補助の拡充**も進めており、基準を遵守している育成会に対して、これまで5万円/月(補助率2/3)であった家賃の上限額を、約24万円/月(補助率10/10)へ増額を検討中です。これらの施策と合わせて、より詳細な**小学生の放課後ニーズ**を把握するための調査も行っていきます。



日本一高い高速道路料金の見直し(定額制から距離制に)

『市内高速道路料金を改め、均一料金制から「短い距離ほど安くなる」対距離制に移行します。』

2021年春に予定される名古屋第二環状自動車道(名古屋西JCT~飛島JCT間)の開通に合わせ、**距離制に移行**されます。例えば大高から呼続まで470円、高辻まで580円、東別院まで650円、錦橋までは760円というように、距離に応じた料金制度で短距離でも利用しやすくなります。

敬老パスの利用拡大の実施(名鉄・JR・近鉄など)

『敬老パスは65才からの交付を堅持し、名鉄・JR・近鉄などへの利用拡大を実施します。』

名鉄・JR・近鉄などへの敬老パス利用拡大が決定しました。令和4年2月からの実施に向けて、着実に準備を進めています。



みどりが丘公園に、新たな形態の墓地を整備

お墓に対する考え方が変化している中、社会情勢や市民のニーズに対応できるよう**新たな形態の墓地の整備**をめざします。

東部医療センターの医師・看護師不足の解消

『東部医療センターの市大病院附属化に伴い、医療関係者や医師、看護師不足を解消します。』

一年前倒して令和3年4月を目標に、**東部・西部医療センターを名市大の付属病院とする方針**が示されました。一体的運営により**医師・看護師を確保**して経営を安定させ、医療レベルを向上させます。

